

魚野のかけ橋

かけ橋とは…

- 農地と担い手をつなぐ…
- 現場と農政をつなぐ…
- 消費者と農業者をつなぐ…
- 農地と農村をつなぐ…
- 次の世代と農業をつなぐ…

かけ橋

南魚沼に生まれたからには

南魚沼市立浦佐小学校

5学年担任 沖山真紀



「米作りについて、どんなことを知っていますか。」

今年度、「総合的な学習の時間」で米作りをすることに
なった5年生に尋ねてみました。米どころ南魚沼で生まれ育った子どもたちですが、自分たちが食べている米がどのように作られているのかは、あまり考えたことがないようでした。

地域の方の協力を得て行った米作り。春の田植えから夏の雑草取り、秋の稲刈りまで自分たちで行いました。赤ちゃんのように小さかった苗が自分たちの胸辺りまで育っていく様子を見て、植物の生長の早さに驚き、喜びました。同時に、雑草や害虫が増えてしまったり、葉が白く病気になるってしまったりと、稲を育てる大変さや困難さの一端を知ることができました。

11月の食育学習会では、農業委員の皆さんから南魚沼の米ができるまでの講話とぬか釜体験をしていただきました。講話を聞きながら子どもたちは、自分たちの体験と重ね、米作りの「成果」と、病気などから稲を守るための「課題」について考えることができました。また、南魚沼で米を作る人たちの想いについても知ることができました。

ぬか釜体験では、初めてぬか釜を見る子どもも多く、「昔の炊き方みたいだ！」と、興味深そうに中を覗いていました。釜の蓋を開けると歓声が上がリ、子どもたちは「いい匂い！」「つやつやだ！」と、目を輝かせていました。口いっぱい頬張る姿はとても幸せそうでおかわりに並ぶ子がたくさんいました。

南魚沼に生まれ、毎日日本一の米を食べることのできる喜び。南魚沼に生まれたからには知っておきたい米に携わる人々の知識や技を、今回の食育学習会で学ぶことができました。今回の経験は、子どもたちの学習、生活に生きていくと思えます。この度は、貴重な体験の機会をいただきありがとうございました。



食育出前授業(浦佐小学校)

南魚沼市農業委員会へのお問い合わせは

電話 025-773-6664 FAX025-773-6710

E-mail nouchi@city.minamiuonuma.lg.jpまでお願いします。

食育出前授業

農業委員会では、毎年小学5年生を対象に、市内5校程度で食育出前授業を行っています。

これは、故郷の誇る「南魚沼産コシヒカリ」の味の再確認、そして「お米ができるまで」と「食べることの大切さ」を児童たちに学んでもらうことを目的に実施しています。

授業では、学校田で児童たちが育てたお米など地元のコシヒカリをぬか釜（写真）で炊きます。ぬか釜とは、落ち葉の杉を着火材、もみ殻を燃料として、羽釜で炊くかまどのことです。児童たちには、ぬか釜の中にもみ殻と杉の葉を入れてもらいます。ご飯が炊き上がるまでの時間を利用して、お米ができるまでの作業工程やごはんを食べることの大切さなど、2つの講話を行います。

最後に、炊き上がったご飯で児童たち自らおにぎりを作り、まずは何もつけずにお米本来の味を楽しんでもらっています。



ぬか釜を囲んで（浦佐小学校）

食育感想文

六日町小学校

10/20実施



5年 田中勇真

ぬか釜体験が楽しかったです。もみ殻を外側に、杉の葉を内側に入れました。温度が千度くらいになると聞いてびっくりしました。

たきあがったご飯を見たらツヤツヤしていておいしかったです。食べる時と甘くておいしかったです。おこげもおいしかったです。もつとお米を食べたいと思いました。

5年 原ひとみ

三千年前にお米が九州に伝わってからずっとお米を作っていて、昔の人はすごいと思いました。昔からずっと伝わってきているお米を大事に食べようと思いました。

ぬか釜でいただいたご飯がとてもおいしかったです。お米一つぶ一つぶがつやつやしていてとても甘くて、いつものご飯とちがうと思いました。

5年 山口虹

ぬか釜体験はとても楽しかったです。自分たちで作ったお米で、お釜を使っていただいたご飯は、すい飯器でいただいたお米とはにおいや味が全然ちがいました。



炊き上がりのごはんの香りは…（六日町小学校）

がいました。おこげがおいしかったです。すい飯器はボタンを押すだけでたけるけれど、ぬか釜でたくには、いろいろなことをしないとイケないことが分かりました。

担任 勝又涼太

ぬか釜で炊いたお米は絶品で、お釜のご飯はあつという間に無くなりました。子どもたちの「自分で刈り取ったお米なんだ！」という思いが、おいしさを倍増させていたと思います。籾殻は燃料となり、灰は畑に撒き、糞は肥料や道具作りの材料になります。お米の無駄の無さや昔の人の知恵の素晴らしさを感じました。

赤石小学校

10/28実施



5年 今井真南

赤石産流れ星（※）は、前にも食

べたことがありましたが、ぬか釜で炊いた赤石産流れ星の味は別格でした。

食育授業では、ドローンで肥料をまいたり、何回も雑草を抜くなど、お米を作るには、たくさん苦労があることがよくわかりました。これからも、感謝してお米を食べていきたいです。

5年 小澤 良

最初に農業委員会の方々から米作りには八十八の苦労があることを学びました。私達が田植えをしたときは、手植えで時間がかかったけど今は機械で一度にたくさんできることにびっくりしました。

お米が炊けて、まずなにもかけないで食べたらいしかったです。ぬか釜体験をしてよかったです。



農業委員とおにぎり作り（赤石小学校）

5年 片桐 瀨那

農業委員会の方々のお話を聞いて、お米を作るには、たくさんのお米の作業や苦勞があることを知りました。

ご飯が炊き終わりに、実際にぬか釜の蓋を開いたら良い香りがしました。一粒一粒が、さらさらしてとてもおいしかったです。

貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

担任 額田 翔太

「赤石産流れ星」炊き上がりの米の艶やかさや美しさから、児童がつけた名前です。見た目もさることながら、味も絶品でした。

食育授業では、南魚沼の自然についてや農家の方々の努力、食べることの大切さについて教えていただきました。とても実りのある食育授業でした。

※赤石産流れ星とは、赤石小学校の学校田で育てたお米で、児童が決めた名前のこと。

浦佐小学校

11/2 実施



5年 井口 萌菜弥

私が一番楽しかったのは、ぬか釜でお米を炊いたことです。炊飯器で炊いたのとは違って、米が光っていい香りがしました。そのまま食べても美味し



ごはんの大切さの講話の様子(浦佐小学校)

かったし、塩をまぶしても美味しかったです。米の育て方の話も聞いて、機械を使ったり、米が美味しく育つ環境にしたりして大変そうだと思います。農家の方の苦勞が分かりました。

5年 岡村 真尋

ぬか釜体験をさせていただき、ありがとうございました。稲穂からとれる粃殻を燃料に使っていて、無駄がなくてとてもいいと思いました。また、お米のことをたくさん教えてください。とても勉強になりました。お米もすごく美味しかったです。

5年 皆川 花音

私がぬか釜体験で一番楽しかったのは、ご飯をおにぎりにして食べたことです。ご飯は、私が今まで食べ

てきた中で一番美味しかったです。食育クイズでは、最初に稲作が伝わったのは新潟だと思いましたが、九州だと知りました。今回のぬか釜体験で知ったことを、家族や友達にも教えてあげたいです。

上田小学校

11/11 実施



5年 小林 篤治

ぼくはぬかがまでご飯をたくのが初めてでドキドキしました。かまの外側にもみながら、内側に乾燥した杉の葉を入れて火をつけました。ご飯がたけるまでの間に、お米ができるまでのことや、お米の栄養について教えていただきました。たけたご飯はとても美味しかったです。

5年 佐藤 眞雪

ぬかがまで体験で一番おどろいたことは、たき上がった羽がまのふたを開けた時に、とってもいい香りがしたことです。おもちのような香りでした。食べてみると、すい飯器でいたごはんよりおいしかったです。これからも、お米を作ってくれた人や自然に感謝しながらご飯を食べていきたいです。

5年 山口 乃愛

ぬかがまでいただいたご飯は、羽がま

のふたを取ったらとてもいい香りがしました。感じよくはもちもちして、味はとってもあまかったです。たきときにもみながら入れすぎるとこげやすくなることも勉強しました。家のすい飯器でたくご飯とは全然ちがったので、また食べてみたいになりました。

5年 吉澤 陽希

ぬかがまでいただいたご飯はとってもおいしかったです。ふつうのすい飯器とこんなに味が違うなんてびっくりしました。何もつけなくてもとてもおいしくて、無限に食べられるんじゃないかと思いました。土なべでもおいしく食べると聞いたので、今度家の人にもたいてもらおうと思います。



炊き上がりを皆で確認(上田小学校)

認定農業者との意見交換会

(開催報告)

6月27日(月)ふれ愛支援センターを会場に、今年度の意見交換会が開催されました。

当日は、(二財)農政調査委員会理事長 吉田俊幸様、南魚沼地域振興局農林振興部より土田部長 外3名、J Aみなみ魚沼より内藤富農部長 外2名を迎え、認定農業者会から14名、農業委員・最適化推進委員18名、その他行政関係者による合計45名の参加により行われました。

初めに吉田俊幸様より「米産業の未来について」と題し講演をいただき、日本の米産業の現状や米の消費減少の要因、その対応策として米や加工品の輸出拡大、また人・農地プランへの課題として地域に残す経営体の明確化と支援策の検討が必要であるなど、幅広い分野でお話をいただきました。

その後、J Aみなみ魚沼と地域振興局農林振興部より報告があり、J Aみなみ魚沼からは、肥料価格上昇について今後の対応とその支援策の説明がありました。また、農林振興部からは今年度の農業の重点課題についてということ、売れる米作りの推進、園芸販売の拡大、担い手の育成などについて説明がありました。

懇親会は実施しませんが、吉田様や関係機関の方を迎えて貴重なお話を聞くことができ、大変有意義な意見交換会となりました。

(榎村光正委員)



講師の吉田俊幸様



講演「米産業の未来について」

農業者経営移譲年金受給者の皆さまへ
もうすぐ

確定申告の時期です！

農業者経営移譲年金は後継者または第三者に経営を譲ることで受給できる年金です。

後継者移譲の場合、後継者の名前で農業所得の申告をしてください。

受給者の名前で申告をすると農業経営の再開となり、経営移譲年金の支給停止となります。

もうすぐ確定申告の時期となりますので、ご注意ください。

ご相談は、農業委員会事務局窓口へ。

増加している所有者不明土地の問題解決に向け、相続登記が義務化されます！

令和6年4月1日から、これまで任意だった相続登記の申請が義務化されます。義務化の施行日前に発生した相続についても3年以内の登記申請が義務づけられます。

農地についても相続登記が済んでいない場合、農業委員会での所有権移転のための許可申請等が不可能となるため、早めに法務局での相続登記をお願いします。相続登記の申請に必要な書類は法務局に問合せいただくか、司法書士などの専門家に依頼することもできます。

農業委員会の主な活動

- 7月25日(月) 第7回農業委員会総会 (大和庁舎)
- 8月22日(月)～30日(火) 第一回農地パトロール (市内12地区)
- 8月25日(木) 第8回農業委員会総会 (大和庁舎)
- 9月26日(月) 第9回農業委員会総会 (大和庁舎)
- 10月20日(木) 食育出前授業 (六日町小学校)
- 10月25日(火) 第10回農業委員会総会 (大和庁舎)
- 10月28日(金) 食育出前授業 (赤石小学校)
- 11月2日(水) 食育出前授業 (浦佐小学校)
- 11月8日(火) 第二回農地パトロール (市内全域)
- 11月11日(金) 食育出前授業 (上田小学校)
- 11月25日(金) 第11回農業委員会総会 (大和庁舎)

編集後記

秋の取り入れも終わり皆様はひと安心していることと思います。

今年は二度の台風に見舞われましたが大した被害もなく平年作と聞いて安堵しているところ

です。

これから寒くなりますがおいしい物、栄養のある物を食べて、来る冬に備えようではありませんか。

(小杉一明委員)